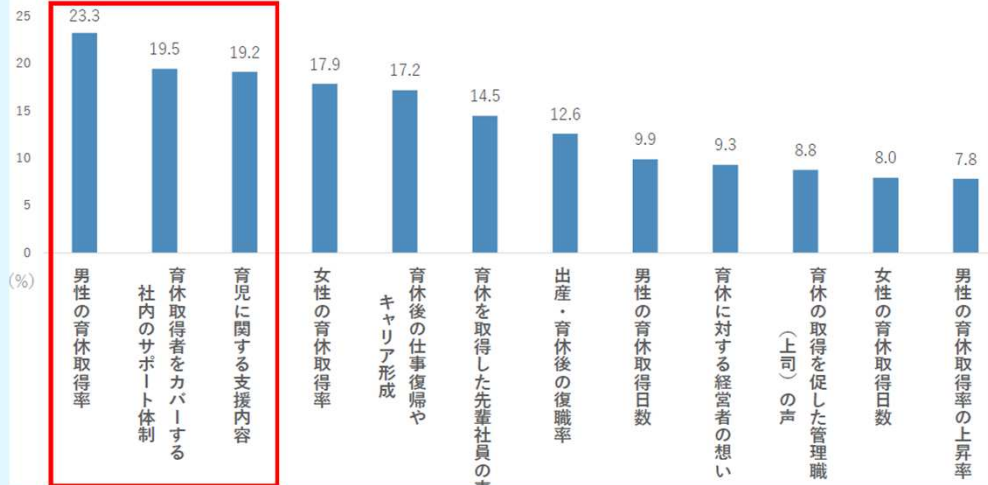


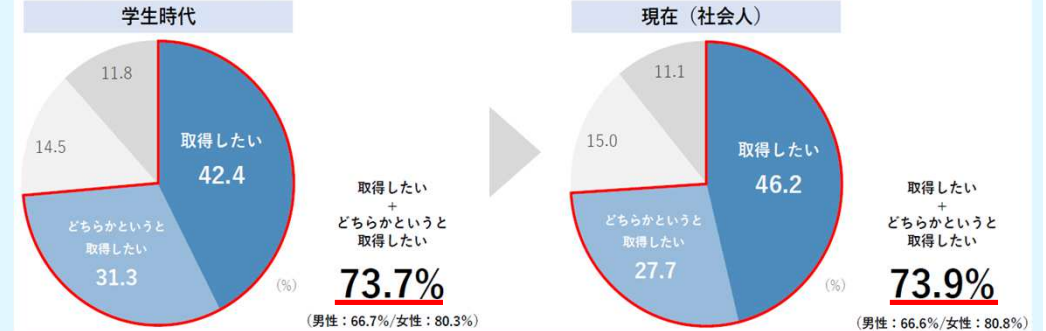
男性育児休業の企業側メリット

1. 男性育休は企業がワークライフバランスを取り組む姿勢のアピールポイント

■あなたは企業からどのような結婚や出産に関わる情報があると就職したい気持ちが高まりますか。



■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。

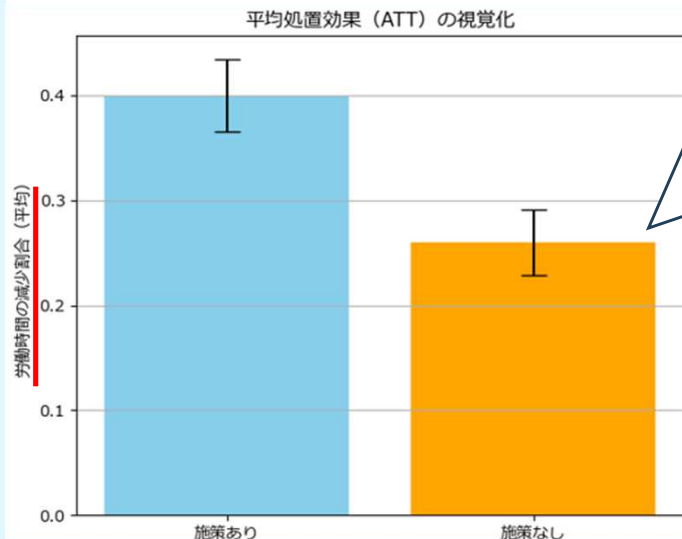


若年層における仕事と育児の両立に関する意識調査(速報)
厚生労働省「共育プロジェクト」(R7.7)

全国の15-30歳男女 高校生・大学生及び社会人等 13,709人対象

2. 男性育休は働き方改革やワークライフバランスの改善に寄与

分析：男性育休促進施策が労働時間削減に与える効果



育児休業取得を後押しする施策が、実際の働き方の効率化や労働時間の削減に結びついていることを示唆

分析：企業施策が従業員満足度と年収に及ぼす影響

施策	施策→満足度	満足度→年収	間接効果 (施策→満足度→年収)
フレックスタイム	0.154	9.987	+1.53万円
テレワーク	0.203	9.987	+2.03万円
男性育休	0.164	9.987	+1.64万円
事業所内託児所	0.003	9.987	+0.03万円
保育料補助	-0.057	9.987	-0.57万円

働き方改革の一部施策は従業員満足度を高め、それが収入向上に結びつく可能性があることが明らかに

山梨県働き方改革等意識調査(R6.6)

県内に本社又は事業所がある正規従業員50名以上の法人 435社
同法人に勤務する子育て世代従業員 1,902名 対象